



各 位

平成 19年 4月 23日

会社名 株式会社 図 研
 代表者名 代表取締役社長 金子 真人
 (コード番号6947 東証第1部)
 問合せ先 財務部長 西 伸孝
 (TEL (045) 942 - 1511)

特別損失の発生と通期個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成19年3月期決算におきまして特別損失を計上する見込みであるとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 19年3月期通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)業績予想数値の修正 単体業績予想 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月15日発表)	12,800	2,000	1,320
今回修正予想(B)	12,200	2,000	△ 1,980
増減額(B-A)	△ 600	—	△ 3,300
増減率	△ 4.7	—	—
前期(平成18年3月期)実績	12,106	1,832	937

2. 修正理由

単体の業績予想につきましては、売上高は従来当社が受注しておりましたコンサルティング業務の一部を連結子会社が請負う体制に切り替えたことなどから予想を下回りましたが、経常利益につきましては当該取引が損益に与える影響が僅少であったため、前回予想通りとなる見込みです。また、当期純利益につきましては、特別損失として関係会社出資金評価損等を計上するため、1,980百万円の当期純損失となる見込みです。

特別損失の計上につきましては、英国における年金制度の変更に伴う退職給付引当金の計上により、ズケンLtd等の英国子会社グループが債務超過となり、これに対する対応策を検討して参りましたが、同グループの株式を保有するズケンGmbH(ドイツ 当社100%所有)の実質価額が著しく減少したと判断し、同社への出資金の評価損2,029百万円を計上することといたしました。また、米国販売子会社及び国内子会社の事業損失に備えるため、関係会社損失引当金901百万円を計上することといたしました。これら子会社の今後の業績見通しにつきましては、将来的には回復を図るものの、一定の期間と新たな施策を必要とすることから、財政状態の健全性を考慮してこれらの対応を行っております。

なお、連結の業績予想につきましては、上記の特別損失の計上が連結会社間の内部取引であり、連結損益に与える影響がないため、修正は行っておりません。

3. 配当予想

関係会社出資金評価損等の計上により、単体決算は当期純損失となりますが、期末配当につきましては、従来通り1株につき5円の配当を予定しております。

(注)業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上